

在宅療養をされている方へ

こころの健康を保つためにできること

これまでの日常とは異なる環境で過ごしていると、誰しものが、以下のような感情や反応を生じることがあります。

これらの反応が生じるのは、とても自然なことです。

- 最悪な事態を考えてしまい、不安になる
- 感染を広めてしまったのではと自分を責める
- 自由が制限されることで、怒りや不安を感じる
- 他の人との交流が制限されるため、寂しさや孤独を感じる
- イライラしたり腹を立てやすくなる

こころの健康を保つために、ご自身でできることもあります。

- 普段の睡眠・起床のペースを保つように心がけましょう。
読書や音楽をきくことなど、時間を決めてできる日課を作りましょう。
また、可能な範囲でストレッチやヨガなど体を動かしてみましょう。
- 電話や SNS を使って家族や友人とのつながりを維持するようにしましょう。
- 面白いテレビや動画などを見て、笑顔や小声でくすっと笑うだけでも、不安感やイライラ感を和らげることができます。
- 多すぎる情報に触れることで不安が高まる場合があります。1日のうち決まった時間に、国や自治体で紹介しているものなど、信頼できるところから知識と情報を得るようにしましょう。
- 感情を隠したり、抑え込んだりせず、身近な方や相談機関に相談してみましょう。



『こころの電話相談』のご案内

普段とは異なる生活の中、落ち着かない日々をお過ごしのことと思います。

「眠れない」、「不安な気持ちが続いている」、「イライラする」など、こころのお悩みはありませんか。相談員が電話でお話を伺います。相談は無料で、匿名でお話いただくことも可能です。

お一人で不安な気持ちを抱えず、どうぞ、お気軽にお電話ください。



○相談時間：平日 午前9時～正午、午後1時～午後4時30分

○連絡先：052-962-5377

(愛知県精神保健福祉センター内)